

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	生体情報システム学特論第二		
英文授業科目名	Selected Topics in Information Biology 2		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-量子・物質工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学専攻		
担当教官名	狩野 豊		
居室	東6-907		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kano@e-one.uec.ac.jp	<a href="http://www.pc.uec.ac.jp/sp/kano/">http://www.pc.uec.ac.jp/sp/kano/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
生体における多様な機能は遺伝子・細胞・器官・個体レベルで系統（システム）的に理解することが求められる。本授業では「外界ストレスに対する生体応答」を主題として、筋・神経システム、循環調節システム、呼吸調節システムについて理解を深めることをねらいとしている。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特になし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
特になし 資料・論文を配付する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>1. 筋・神経システム  運動の神経制御機構  骨格筋の代謝調節機構  神経筋の可塑性  カルシウム制御機構  骨格筋の遺伝子発現</p> <p>2. 循環調節システム  自律神経と循環調節</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

血管内皮細胞と循環調節  
酸素利用機構  
3.呼吸調節システム  
ガス交換機構  
呼吸の化学調節  
最大酸素摂取量の規定因子

【成績評価方法および評価基準】

出席・授業参加 (50%)およびレポート(50%)

【オフィスアワー：授業相談】

火曜2限 ほか

【学生へのメッセージ】

外界ストレスと生体に備わっている多様な調節機構との関連について、最近の研究成果も含めて解説したいと考えています。